

当院における新型コロナウイルス院内感染防止対策について

当院では、新型コロナウイルス感染症に対する院内感染防止対策を行いながら、診療を行っております。

職員の具体的な取り組みといたしましては、

- 全職員のマスク着用、手指衛生の徹底
 - 職員食堂での対面を避ける椅子の配置
 - 救命救急センター患者搬入時のトリアージ及びゾーニングの厳格化と個人防護具取り扱いの徹底
- などを行っております。

また、外来・入院における対策といたしまして、

- 初診、再診ともに発熱のある患者さんの外来入口での確認
- 外来患者さんへの発熱及び呼吸器症状並びに海外渡航歴と新型コロナウイルス感染高リスク地域への訪問歴・移動歴に関する事前問診の実施
- 来院される方へのマスク着用・手指衛生のお願い
- 受付カウンター等へのビニールシートの設置
- 外来カウンターや待合ソファ等備品の定期的清拭
- トイレに設置するエアータオルの使用中止
- 診療費支払い時等の待合時における間隔確保のための立ち位置表示の設置
- 電話診療の実施
- ご面会の禁止

などを継続いたします。

今後も引き続き、院内感染防止対策を徹底いたしますとともに、患者さん・職員の安全を第一に考えて、当院の果たすべき医療を行ってまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

京都第二赤十字病院
院長 小林 裕